



0. はじめに

保護者の皆様、お元気でしょうか。未だコロナ禍のニュースが毎日のように報道されておりますので、ご自愛ください。

さて、2022 年もあっという間に 5 月が終わろうとしており、約半年が過ぎようとしております。生徒達も新学年に進級し、新たなクラス・新たな授業によりやく慣れてきたところですが、昨今は、めまぐるしく変化する社会や入試制度に翻弄されがちになっておりますので、入試情報については、確かな情報を確認していただきながら、お子様の将来について家族で話し合う時間を持っていただきたいと思いますと考えております。

この「進学 Now」が少しでもお役に立てば幸いです。奇数月に発行（ホームページに掲載）致しますので、ご覧ください。

1. 令和3年度卒業生（令和4年3月卒）の進路状況について

この春に卒業した 3 年生は、昨年度の卒業生同様に、様々な困難に見舞われ、不安の多い日々を過ごした学年でした。2 度目の「共通テスト」で大幅に平均点が下がったり、見送られたはずの英語外部検定試験が、個別の大学ごとに設定されていたり、また、コロナ禍により休校期間が 3 ヶ月に及び、授業を受けられない不安な毎日も過ごしました。更に楽しみにしていた修学旅行が延期の上、最終的に中止されるなど、通常の活動や学校行事が大幅に制限された学年だったと思われま

しかし、そんな環境下でも本校生は大変努力し、大きな成果を残して卒業していきました。現役の国公立大学合格者数が 130 名を超えたのは、石橋高校開学以来、初めての快挙であり、私立大学合格者数も例年より一気に 180 ～ 200 人程度増加し、現役 700 人を超えました。（これも史上最多）また、本校の目指す国立難関大学受験者も、目標とされてきた 50 人を初めて超え、多くの合格者を出すことができました。詳細は全生徒に配布される「湧泉の記」をご覧ください。

何よりも嬉しいことは、高校入学以来 3 年間、国公立大学志望者が 90%前後を占める本校において、半数以上が国公立大学合格を達成し、その 90%以上が合格大学に進学（3 年連続）していることです。すなわち、**行きたい大学を最後まで粘り強く受験し、合格を勝ち取り、目標を達成した生徒が 3 年連続で 90%以上にのぼった**ことは、本校の指導が生徒の希望を叶える方向でうまく機能していることを示す結果だと感じております。この結果は、言うまでも無く保護者の皆様が本校の進路指導をご理解くださり、お子様を最後までご指導くださった結果であると思

います。皆様のご理解・ご協力と生徒達の粘り強い努力に、心より感謝申し上げます。長く、本校で指導してきて感じることは、本校生の持つ潜在能力は本当に素晴らしいということです。**その能力を開花させるためには、途中で安易な選択に流れず、最後の最後まで努力する姿勢を維持することができたかどうかにかかっていると強く感じます。**そして、その姿勢を助けるのが、同じ目標に向かって頑張る素晴らしい仲間達の存在です。学年のまとめりと元気・勇気が石高生の支えとなっています。メンタル面の弱い生徒も増えてきていますので、保護者の皆様の助言と励ましを最後までよろしくお願い申し上げます。

2. 3年生のこの時期

冒頭でも述べましたが、すでに 5 月が過ぎ、6 月に向かっております。2022 年が半分終わり、後半戦に入って参りました。つい先日（5 月末）に進研マーク模試（6 月マーク模試）が行われましたが、この模試は、これまでの模擬テストとは意味合いが大きく異なります。

① 3 年生初のマーク模試であること②この試験結果と本番の共通テストの結果には強い相関関係が見られること③結果が 1 学期中に返却され夏休みの目標のデータとなること、の 3 点です。

①については、共通テストと同様の形式に慣れ、失敗しない方法を身につけるという点では重要ですので、各自で今後に生かして欲しいと思います。②については、およそ 78%の相関関係があり、6 月マークの点数+100 点を大学合格のボーダーラインと照合し、受験する大学を絞り込む際の重要なデータとなります。もちろんこの結果がすべてでは無く、例外的に急成長したり、逆に伸びを欠くケースもあり得ますが、データとしての重要性は大きいと言えます。③について

は、6 ヶ月を過ぎ次第に緊張感と焦りが出てくる時期ですが、部活動参加率の高い本校生は、夏休みに向けたこの時期がスイッチを切り替える絶好の機会となります。学習計画を改め、これからのサポートを有効に行うための心の持ち方を準備して欲しい時期になります。

また、1 つ 1 つの模擬テストは練習試合のようなものです。それぞれの結果に一喜一憂すること無く、次の試合の準備をして欲しいと思います。「本番に勝つ」ための準備と捉えて、計画的に目標を定め、今後の模試に取り組んで欲しいと思います。保護者の皆様からも、心構え等についてご指導いただければ幸いです。

3. 2年生この時期

文理の選択に基づいてクラス替えが行われ、ようやく新クラスに馴染んできた頃かと思います。部活動でも中心的な役割を担い、責任ある行動が問われる機会が増えてきていることでしょう。

進路について、2 年生に考えて欲しいことは①学部・学科を理解する、そして②テーマ研究を積極的に行う、ことです。

コロナ禍の影響から 2 年間で中止されてきましたが、本校では **2 年生で「夢・描写プログラム」**を実施することとしてきました。この学校行事は、学校が定めたプログラムに縛られるのではなく、各自の目標や興味関心に合わせて、「夢を描いていく」ものであり、具体的には 大学や研究施設を各自の計画で訪問し、大学進学に関する詳細な情報を得て、進路検討の材料とすることです。ので、**主体的な取り組みが求められます。**大学のオープンキャンパスや研究講座も対面式で復活してきていますので、今年度は大きくチャンスが広がっています。保護者の皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。②については、各自がテーマを決め、先生方に指導していただく段階に入りました。中学生時代のように、単純に知りたいことを調べるのではなく、物事の本質に迫る「研究」に取り組んで欲しいと思います。近年は、受験の申し込みに当たり、「活動実績報告書」の提出を求める大学も増えておりますので、しっかり取り組むことが、将来的に自分の希望進路実現の助けにもなります。

4. 1年生この時期

入学直後から、忙しい日々を送っていることと思います。また、高校生の生活に戸惑い、悩みも出てきているかもしれません。しかし、全国の高校生も同様の経験をしているはずで

す。悩むことも自分を成長させる一助と捉え、全力で取り組んで欲しいと思います。また、担任をはじめ、部活動の顧問などにも相談してみてください。先日初めての中間テストが終わり、一息入れているところでしょうか。本校生の誰もが優秀な成績で中学時代を過ごしたと思いますが、その生徒達が挑む「大学受験に向けた」難易度の問題が出題され、**大きく戸惑う生徒も出てくるか**と思います。そんな時は遠慮せず、クラス担任や教科担当の先生に相談するよう、指導しております。保護者の皆様も、お子様の様子にご注意くださいますようお願い申し上げます。

友人との楽しい時間や部活動の充実した時間も高校の醍醐味ですが、進学を目指す本校生にとっては、勉強が必須要件です。学習に重点を置いた日常生活をご指導くださいますようお願い申し上げます。

5. おわりに

保護者の皆様をお願いしたいことは、**まず第 1 に、**将来に向けてどんな過ごし方をすれば良いか、優先順位をどのようにすれば良いか、お子様と話し合う時間を持って欲しいということです。

世の中の変化が激しく、進学も就職も一昔前に比べると大きく変化してきています。それに伴い、生徒達の気質も大きく変化していると感じます。これからの時代に向けて、何を重視するかは、ご家庭ごとに異なる場合もあるかと思

います。是非、お子様と本気で向き合う時間を持っていただきたいと思

います。よろしく願

います。SNS 等の発達により、誤った情報やニュースも多くな

っています。信頼できる正確な情報収集を心がけ、ご参考になさってください。最後になりますが、本校の進路指導部では、「進路」＝「今後の人生の生き方」と捉え、単なる受験合格ではなく、将来に向けた資質の向上、主体的に取り組むことのできる人材作りを目標として、指導しております。16 歳から 18 歳という大切な青春の時間は、**一生に一度きりの貴重な時間**です。思い切り学び、良い経験を積み、仲間と競い合い、切磋琢磨できる素晴らしい時間を過ごして欲しいと願っております。保護者の皆さまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。また、ご不明な点や疑問点などございましたら、遠慮なくご相談ください。進路指導部